

7. ブラックフェアリーの22年産

牡

父：ダノンレジェンド（USA） 母の父：ヴィクトワールピサ

2022年2月26日生（黒鹿毛）

美浦・高木登厩舎 入厩予定

生産：（有）ビクトリーホースランチ

繋養牧場：（有）ビクトリーホースランチ

全400口 総額1,000万円／一口出資金25,000円／月々の維持費 1,750円／1口



ダノンレジェンド(USA) 黒鹿毛 2010年	Macho Uno(USA) 芦毛 1998年	Holy Bull(USA)
		Primal Force(USA)
マイグッドネス(USA) 黒鹿毛 2005年		Storm Cat(USA)
		Caressing(USA)
ブラックフェアリー 青毛 2016年	ヴィクトワールピサ 黒鹿毛 2007年	ネオユニヴァース
		ホワイトウォーターアフェア(GB)
	タイキエイワン 黒鹿毛 2007年	フサイチコンコルド
		ヤエノジョオー

Mr. Prospector:S5×M5

Family Line

母 ブラックフェアリー

[東海]2勝[南関東]入着7回、本馬は初仔

祖母 タイキエイワン

3勝

タイキメサイア:2勝[東海]2勝 マイル争覇3着

タイキワンダラス:[北海道・東海・佐賀]14勝

ディクレアブルーム:1勝、現役

曾祖母 ヤエノジョオー

7勝 シーサイドS(JPN3)2着、タイムス杯(OP)

タイキパーシヴァル:5勝

4代母 リンクスオブゴールド(USA)

米4勝

リンクスオブタイム:5勝

[孫]タイキグラミー:1勝

[曾孫]タイキダイヤモンド:3勝

シーオブドリームス:1勝、現役

5代母 State Treasure(USA)

米1勝

[孫]ディンジャークロコダイル:米18勝

Timeless Twister:米4勝

Broodmare Sire

母の父 ヴィクトワールピサ

2007年生 黒鹿毛 千歳産

【競走成績】

国内:12戦7勝 海外:3戦1勝

ドバイワールドC(G1)、皐月賞(G1)、有馬記念(G1)

【母の父として】

アートハウス:ローズS(G2)

オニャンコポン:京成杯(G3)

ラブリユアアイズ:阪神JF(G1)2着

TRAINER 高木登 調教師(美浦)

1965年5月25日生 神奈川県出身

2007年開業 JRA通算350勝

※成績は2023年7月6日現在

【主な管理馬】

サウンドトゥルー:チャンピオンズカップ(G1)

スノードラゴン:スプリンターズS(G1)

ニシノデイズ:中山大障害(J・G1)

Sire

父 ダノンレジェンド(USA)

2010年生 黒鹿毛 米国産

【競走成績】

30戦14勝

JBCスプリント(JPN1)、東京盃(JPN2)、カペラS(G3)、

クラスターC(JPN3)2回、黒船賞(JPN3)2回

【直近3年の種付頭数】

2020年143頭、2021年126頭、2022年71頭

【代表産駒】

スペシャルエックス:兵庫ジュニアGP(JPN2)2着

ベストリーガード:4勝

ジュディッタ:4勝



©(株)ジャパンレースホースエージェンシー

(有)大樹ファーム 荻野豊代表のコメント

漆黒の馬体が目を奪う美男子は、JBCスプリントの覇者ダノンレジェンドの産駒。2016年産募集馬だった母ブラックフェアリーの初仔になります。母や祖母によく似て顔が小さく背も低めですが、低重心でバランスが取れた馬体で、放牧地ではとてもスピード感のある走りを見せています。高さはないですが幅があり、肩周りとお尻の筋肉は相当なボリュームを有しています。性格面は良くも悪くも気位が高く、祖母タイキエイワンの一族らしい性格をしています。母も祖母も人から隠すように過保護に仔を育てますが、その庇護をかいぐって馬房から顔を出すような好奇心旺盛な部分も持ち合わせています。あまり群れるタイプではないですが、クラウンアゲンの22年産とはとても仲が良く、2頭で相撲を取っているシーンをよく見かけますね。屈強な馬体と近親の活躍傾向からも、目指す舞台は父ダノンレジェンドが活躍したダートの短距離を見込んでいます。